

地区の概況

3つの洲からなる地区であり、それぞれの地区が異なる特徴を持つ。

夢洲は2025大阪・関西万博の開催、統合型リゾートIR開業に向けた開発が進められている。咲洲は周縁部の物流施設、北部の業務施設、中心部の共同住宅等、複合市街地形成をめざしたまちづくりが進められている。舞洲は西部にスポーツ施設、BBQ広場、キャンプ場などの屋外レクリエーション施設があり、スポーツやレクリエーションを通じた取組が進められている。

本地区では、夢洲・咲洲・舞洲全体を緑化重点地区として設定し、生物多様性の保全や水辺景観の向上にも寄与する緑化等を推進するものとした。

みどりの現況

〈咲洲エリア・舞洲エリア〉

街路樹や都市公園・臨港緑地が整備されており、大規模な公園緑地が多いことも特徴である。

咲洲のホテルやビルでは、民間による緑化が見られる。

舞洲では、スポーツ施設・レクリエーション施設によるみどりが多くみられる。

〈夢洲〉

現在開発中のエリアであり、開発に合わせた緑化等により、新たなみどりの創出が見込まれる。



基本方針

市内随一の豊かな自然と調和した
洲ごとの個性を活かしたみどりのまちづくり

個別方針① 地区全体での豊かなみどりの保全・創出

- (1) 豊かなみどりを感じられる緑地等の保全・創出
- (2) 生物多様性や景観を意識した水辺のみどりの保全育成

個別方針② 洲ごとの個性を活かしたみどりの創出や活用

- (1) 【夢洲】 今後の民間開発と協調した非日常感を演出するみどりの創出
- (2) 【咲洲】 居住者や来訪者の幅広い利用に対応した多様なみどりの維持・創出
- (3) 【舞洲】 広大な敷地を活用したスポーツやレクリエーションの場としての利活用

(注) 本方針（案）における「みどり」は、樹木や公園、水辺、オープンスペースなど、緑に関する広い概念を指しています。